

あなたと町政を結ぶ



# 議会だより



無病息災を祈願して 八日市場大聖寺の火渡り (撮影:望月幹雄さん)

6月定例議会

- 6月議会のやりとり . . . . . P2
- 一般質問 . . . . . P5~12
- 全国町村議会議長・副議長研修報告 . . . . . P13
- 中学生でも読める広報誌を目指して . . . . . P14~15
- 元気いっぱい 西嶋保育所 . . . . . P16

2013  
GIKAI DAYORI  
MINOBU  
No.35



# 6月議会のやりとり

## 重度心身障がい者 窓口無料化廃止は避けられないか

重度心身障がい者  
窓口無料化廃止は

「静川村夢の再生  
プロジェクト」とは

**渡辺議員** 障がい福祉費29万円は、重度心身障がい者窓口無料化廃止に伴うコンピュータシステム変更費用だが、対象になる障がい者は何人か。

**笠井福祉保健課長** 身体

知的、精神の障がい者手帳所持者は合計1196人、重度心身障がい者医療費助成の受給対象者は719人である。

**渡辺議員** 窓口無料化が廃止され、自動還付方式になると、現金がない障がい者は、病院に行けない人も出ないだろうか。

**福祉保健課長** 県では、無利子の貸付制度を設ける。町としては、受給者の負担が少なくなるようこの制度の充実を県に要望していく。

**穂坂議員** 企画費1300万円の「静川村夢の再生プロジェクト」とは。

**丸山政策室長** 旧静川小学校舎を地域のコミュニティ活動拠点にするための費用で、

①老若男女が集い、交流する機会や場所の確保をする。

②防災に対応できる安心安全な地域づくりをする。

③農作物の生産量の拡大、耕作放棄地の借り上げや農作物販売の確保をする。などの交流促進事業を行うもので、「静川地区活性化推進委員会」を組織し、事業を推進していく計画である。

「景観条例」の制定

**望月明議員** この条例では、廃棄物等の不法投棄には触れていないが、川には含

まれないのか。  
**竹ノ内建設課長** この条例は、景観に対する町民の責務、町及び町民の責務について定めたもので廃棄物等については環境衛生の面に対応することになる。

分散処理システム  
負担金は

**望月明議員** 総務費の分散処理システム負担金3751万円は。

**笠井雄総務課長** これは、広域行政組合の計算センターが統合型パッケージシステムを導入するに伴う当町の負担金である。

クラフトパーク  
閉館に伴う負担金

**望月明議員** クラフトパークの閉館に伴う負担金1132万円は。  
**高野観光課長** クラフトパ

1クの富士川ふるさと工芸館の解体・撤去負担金を峡南5町で負担する。

追加議案

職員給与削減条例  
他の市町村は

**野島議員** 県職員は、国家公務員なみの7.8%削減という事だが、県下27市町村の状況は。

**総務課長** 6月議会が終了していない市町村もあり、具体的な数字は分らないが、ほとんどの市町村が実施している。

**渡辺議員** この削減による金額はどれほどか。

**総務課長** 約900万円である。交付金は、総額で12%削減になるといわれている。



身延山門内地区 イメージ図（景観計画抜粋）

# 反対

# 討論

# 賛成

一般会計補正予算の医療費集計支払いシステム負担金29万1000円は、重度心身障がい者医療費の窓口無料制度を廃止し、自動還付方式に移行させるためのものである。県は、この実施に伴う国のペナルティ負担が大きいことを理由に廃止するものだが、障がい者の中

には医療機関にかかれない人も出てくる恐れがある。県は無利子の貸付制度を作るから大丈夫といっているが、町は、この優れた制度を住民福祉のために継続するべきであり、この補正予算には反対する。

渡辺文子議員

## 一般会計 補正予算の討論

この制度の廃止は、県が廃止することに伴うもの。県は無利子貸付制度を検討している段階であるので賛成する。

河井 淳議員

公務員の賃金は自治体が独自に定めるといのが地方公務員法の原則である。国が一方的に下げ幅を決めて、交付金を減額することはルール違反である。地方公務

員の賃金を下げることは民間の賃金を下げることにつながる。地域経済の疲弊につながるので反対である。

渡辺文子議員

## 一般職員給与臨時特例 条例に対する討論

県や近隣町村に歩調を合わせた条例の制定であり、この給与の削減が間接的に東日本大震災の復興財源として使われるということ配慮して賛成する。

野島俊博議員

下山分館は、多くのお年寄りが利用できなくなるような場所に建設するものであり、反対する。

渡辺文子議員

## 身延地区公民館 下山分館 建設請負契約 の討論

これは、すでに議決を経たものの執行予算であるので賛成する。

河井 淳議員



# 町議会公議員選挙10月実施

## 24年度一般会計・特別会計の決算処理

決算処理が5月31日付けで行われ、全会計において黒字決算となった。

## 中部横断自動車道

「(仮称)六郷インター」から、「(仮称)富沢インター」までの新直轄区間整備に、国の予算が25年度234億円と決定し、29年度供用開始にむけ前進した。

国は「(仮称)中富インター」の連結許可を決定した。

## 橋梁長寿命化修繕計画

24年度までに、主要な135橋の点検を実施した。対策が必要な32橋を5年間で修繕していく。

## 林道「三石山線」

昭和62年度に新規路線として認可され、25年の歳月を経て本年7月に全線開通の目途がたった。



富士川橋(県道割子 - 中富線)

この路線は、旧下部町を起点に南部町までの総延長37.819キロメートルで、山梨県内でも1、2を争う長距離林道である。

## 身延町議会議員選挙

選挙管理委員会が開催され、身延町議会議員選挙が、10月22日(火)告示、10月27日(日)選挙期日とすることが決定された。

## 公共下水道の加入状況

25年5月24日現在、中富

処理区、加入戸数995戸、加入率65.4%、身延処理区317戸、39.2%、下部処理区40戸、28.0%である。中富処理区は3月定例会以降、加入がない。加入率アップに向け、ご理解ご協力をお願いする。

# 保育所統廃合についての決議

## 教育厚生

### 常任委員会

### 調査報告

教育厚生常任委員会で、保育所の現状について、勉強会及び現地視察を開催し、協議検討を行なった。

①21年12月に町立保育所配置等検討委員会より、「地域の幅広い意見を聞いた中で、統廃合を進めるよう要望する。」との意見書が出された。

②保護者から送迎バスでの通園を望む声も多い。また、送迎バスのある町外私立保育園に通う園児もいる。

③私立保育園と比較すると、保育士の数や、経費面で効率が悪く、

④少子化が進む中、小中学校統廃合計画が示されている。保育所についても、検討する必要がある。

これらをふまえて以下のように決議した。

## 決議書

現在、核家族化、夫婦共働き世帯の増加に伴い、生活形態の変化の中で保育ニーズも多様化している。このような中で、効果的かつ効果的な保育所運営が求められている。

身延町内で、私立2力所、町立5力所の保育所(園)が運営されているが、近年、町立保育所では園児数の減少が深刻化している。園児数減少の原因追求や対応策が急務となつてきている現状を分析するとともに、保護者の意見を尊重し、地域住民の理解を得る中で、将来的には保育環境の充実や保育運営の安定化を図るため、保育所の統廃合を含めた検討をされるよう強く要望する。

以上決議する。

平成25年6月11日

身延町議会



ここが聞きたい!

# 一般質問

## 問 消防団員の災害補償は

### 答 公務災害補償の条例で定めてある



佐野 富雄 議員

**問** 東海沖地震、東南海地震等が危惧される中で、消防団員に対する災害補償の現状は。

**総務課長** 消防団員の公務災害は、消防団員等公務災害補償責任共済等に関する法律があり、支給額および支給方法については、山梨県市町村総合事務組合市町村消防団員等公務災害補償の条例で定めてある。補償内容は、療養補償、休業補償、傷害補償年金、介護補償、遺族補償年金、葬祭補償等がある。これらの公務災害、福祉共済制度については、23年度、24年度とも消防団役員会で説明し、資料配布を行なった。

**問** 団員が窓口で詳細が聞ける体制になっ

ているか。

**総務課長** 資料が担当者のところにあるので、随時相談に応じたい。

**問** 町の所有バス「あじさい号」の運用規定を見直し、町民がより多く利用できるようにする考えは。

**政策室長** 「庁用バス」という呼び名で、「あじさい号」と「ふるさと号」がある。庁用バス使用規程により、使用基準等を定め、運行している。道路運送法に基づき、運輸局長の許可で運行する貸切バスとは違い、観光地案内等を兼ねたような運送はできない。そのため、ほとんどが役場職員等が公務として随行する団体の使用に限られている。



新規購入の庁用バス 「ふるさと号」

# 問 ウィンドウズXPサポート終了への対応は

## 答 リスクの管理・回避・コントロールにより事態を事前に防止する



野島 俊博 議員

**問** 平成26年4月の、ウィンドウズXP、オフィス2003、インターネットエクスプローラー6のサポート終了に伴う事前

評価は。

**政策室長** 本町役場関係で、248台のうち43台は対応済み、残り205台は9月補正での対応を考えている。

古くなった130台は、パソコンを入れ替え、残りの75台はOS(ウィンドウズ7)の入れ替えの予定である。教育現場においては、現在精査中であるが、9月の補正予算での対応を考えている。

**政策室長** 本年9月議会で審議をお願いし、議決されるか。

れば10月に発注し、平成26年1月末までに入れ替えを行う予定である。

**問** 入れ替え後、安定稼働までの観察の見積りは。

**政策室長** 入れ替え終了後であるが、26年2月には通常業務を行いながら、稼働状況の確認やトラブル等のチェックを行う予定で

ある。

**問** 万が一のスケジュール遅延など、リスク回避に必要な時期をどのように考えているか。

**政策室長** すべて平成26年2月までに完了する予定で進めるが、万が一の場合を想定し、3月の一カ月の猶予期間を設けている。

### 質 問

#### 教育行政について

**問** キャリア教育、職業教育、時代の進展に対応する教育をどのように行っていくのか。

**教育長** 小学校では、社会性、自主性、関心、意欲を養う教育、中学校では社会における自らの役割や将来の生き方、働き方を考えさせ、目標を立てて計画的に取り組む態度を育成し、進路の選択決定に導くことにしている。

**問** 保育所と小学校の連携の推進、幼児期の教育と小学校の円滑な接続を図るための配慮、工夫はあるか。

**教育長** 身延地区では、幼保小・中・高・大で、これら



ウィンドウズXP スタートメニュー画面

### 【その他の質問】

が連携して本年4月に協議会を設置し、更なる充実を図るため方向性を探っていくという体制が進んでいる。  
教職員、保育士とも小学校就学について、不調和を避けるよう、様々な配慮、工夫を行っている。

\*幼児期の教育と小学校の円滑な接続を図るための配慮、工夫についての考えは。

\*電気設備の運用と電力料金節減について  
(電力の小売自由化、ピークカット)





柿島 良行 議員

# 問 身延地区に獣害防護柵の設置を

## 答 国の新規事業導入に鋭意努力する

**問** 旧豊岡小学校の利

活用についての検討状  
況および利用計画は。

**政策室長** 24年度に、政策

室と財政課が中心とな  
り検討を重ねた結果、当  
分の間、民具等の文化財  
の保管庫および災害備蓄  
品の保管庫とし、町の普  
通財産として財政課が管  
理する。

**問** 活用に対する豊岡

地区の住民の意見を聞  
くために意見交換会等  
を開催する考えはな  
いか。

**政策室長** 22年度に豊岡

地区の各区長と協議し、  
地区の意向に沿った利用  
を行っていると思うので、  
今後、意見交換会等は行  
わなくても良いと考えて  
いる。

**問** 有害鳥獣被害防止対

策として、有効に活用さ

れている防除用施設設  
置補助金制度は今後も  
継続する予定か。

**産業課長** 当面継続して、

農作物被害の軽減および

営農意欲回復の向上を目

指したい。

**問** 耕作者に対し、鳥獣被

害に関するアドバイス  
体制の強化策は。

**産業課長** 有害鳥獣対策

協議会を設置して対応し

ているほか、産業課に専属

の職員を配置しており、

きめ細やかな対応ができ

る体制をとっている。

**問** 猟銃免許所持者の増

加と若返り、および積極  
的駆除活動の展開のため  
に、猟友会と協力して  
町が積極的に関与して  
いくことが重要と考  
えるが。

**産業課長** 町としては、

猟友会活動費、猟銃免許登

録手数料について補助金

を交付しているほか、有害

鳥獣捕獲奨励交付金要

綱により駆除隊に奨励金

を交付している。駆除隊の

皆様には、今後も積極的

に駆除等に取り組んでい

ただけよう願います。

**問** 中山間地域総合整備

事業として、鳥獣害防止

設備事業があるが、身延

地区においても防護柵

設置等の事業が実施で

きないか。

**産業課長** 身延地区では、

中山間地域総合整備事業

が平成20年に完了したば

かりで、取り組みができな

かったが、有害鳥獣被害が

甚大であり拡大しているこ

とから、身延地区において

の事業導入にむけて、27年

度に国から新規の事業選

択を受けられるよう鋭意

努力している。



旧豊岡小学校と周辺の鳥獣害対策



# 問 後期統合計画説明会での意見への今後の対応は

## 答 集約された意見をもとに教育委員会の見解を示す

### 学校統合後期計画について

**問** 現在、全町において学校統合後期計画の説明会が行われているが、参加者の意見に対する今後の対応は。

**学校教育課長** 後期計画の説明会においてさまざまな意見をいただいている。その内容を事務局が集約し、教育委員会に示した上で意見・要望等に対する見解を取りまとめている。

**問** 旧三町合併時、旧下部町から学校が無くなることを想定できたか。

**教育委員長** このように急速に、児童、生徒の数が減少するとは考えていなかった。

**問** 統合が計画されている久那土小エリアは70平方

キロメートル、西島小エリアは43平方キロメートルである。広いエリアの児童が狭いエリアの学校に統合される状況となるが、このことが適正配置といえると考ええるのか。

**学校教育課長** 児童生徒の実際の居住地域などを考慮した結果である。パランスが大きく崩れた計画ではないと考えている。

**問** 合併以前から久那土地区は六郷との繋がりが強く、六郷小、六郷中への統合を望む声が聞かれた。西島小と身延中への統合は、距離的、時間的な問題が多く指摘されたが、同意が得られない場合の対応をどう考えるのか。

**学校教育課長** あくまでも身延町の学校統合を進める計画であり、教育委

員会では他町の学校との統合は認められない。

**問** 中学校を1校にする計画には反対が多いと感じたが、その民意をどのように反映させるのか。

**教育長** 諮問答申によるもので、議会からの意見書も参考にした計画であり民意と考える。

中部横断道  
「(仮称)中富インター」  
に接続する  
道路整備計画は

**問** 中部横断道(仮称)中富インターが決定されたが、市之瀬、下田原間の道路改良の考えは。

**町長** 地域の方から強い要

望もある。地域活性化に向けて検討したい。

**問** 宮木、下田原、鴨狩間を国道52号の迂回路として考えているか。

**町長** 宮木、鴨狩間が国道52号の迂回路とは考えていない。ただし、富士川橋左岸より峡南衛生組合までの間については今後補助事業として財源を検討するなかで整備を進めて行きたい。



川口 福三 議員



久那土小学校





松浦 隆 議員

# 問 定住促進事業と学校統合計画は相反する施策では

## 答 生活環境と教育環境の整備は町民のための施策である

**本町の社会教育について**

**問** 社会教育のあり方に対する町の考えは。

**教育長** 生涯学習の充実のため、自主活動と学習機会の提供、地域協働の考えで取り組んでいる。

**問** 教育委員会に、現在何人の社会教育主事が在籍しているのか。

**教育長** 教育委員会の中には在籍していない。

**問** 社会教育法に抵触する。検討し対応すべきでは。

**教育長** 職員配置全体に關わるが検討したい。

**問** 公民館分館の主事の配置の考えは。

**生涯学習課長** 地域主導型のため、館長と相談し地域の方の選任を依頼している。

**問** 公民館分館長の委嘱が5月10日に行われたが遅すぎるのではないか。

**生涯学習課長** 遅くなったことをお詫びし、今後出来るだけ早い時期に委嘱出来るようにしたい。

**問** 金山博物館だよりの休刊の理由と再発行の考えは。

**生涯学習課長** 全国の関係施設や関係各所に、活動報告やイベントの告知をしていた。ホームページへのアップで休刊することとしたが、ネット環境のない方もあり紙ベースでの発行を再検討する。

### 定住促進事業について

**問** 宅地分譲事業や空き家バンクの周知の方法は。  
**政策室長** 町民の方には

「広報みのぶ」や閲覧板、町外の方にはホームページ等で周知をしている。

**問** 東京で開催の移住希望者への説明会の内容は。

**政策室長** 空き家バンクの説明や、実際に身延町へ移住された方に、移住の目的や感想など、体験を語ってもらった。

**問** 身延町の定住促進に協力いただいた移住経験者の方が、学校統合の説明

会で「学校が近いことで移住を選択した。学校がなくなるのなら町を出たい。」と発言した。定住促進と学校統合計画を相反する施策と感じての発言と思うが、町の考えは。

**政策室長** 定住促進事業と学校統合計画は、町民のための施策で、同じ方向と判断している。

**問** 人口減少と少子化問題を抱えたなかでの今後の

町の考えは。

**町長** 住みやすい町をつくる定住促進事業の継続が、人口減少と少子化への歯止めと考える。学校統合計画も急激な過小規模により、個々の学校では取り組めない困難な問題によるものであると考える。したがって、今、施行している生活環境と教育環境の整備は、相反する施策ではないと考えている。



休刊前の「博物館だより」



# 問 学校統廃合の同意を保護者に押し付けるべきではない

## 答 押し付けるのではなく、ご理解のうえ同意をいただきたい



渡辺 文子 議員

**問** 統廃合の同意を保護者に押し付けるべきでなく、期日を決めて、同意を迫ることがあつてはならないと思つた。

**教育委員長** 保護者だけに責任を押し付けることではない。保護者に同意を迫るのではなく、ご理解をいただいた上で、同意をいただきたいと考えている。

**問** 保護者の責任が重すぎるという意見がある。11校の保護者の同意書を、来年の今頃までに出してもらつたと説明しているが。

**学校教育課長** 保護者にあるのは「責任」でなく、同意、不同意の「選択」である。

**問** 学校の統廃合は、子育てや地域の存続だけでなく、町の将来に大きく関

わる問題なので行政が一方的に進めるべきでなく、徹底した住民合意が必要と思つたが、その努力は。

**教育長** 必要であれば、再度その地域の説明会もできないわけではない。

**問** 説明会でも、当事者である子ども意見を聴いて進めてほしいという声があるが、これをどう受け止めるのか。

**教育委員長** 未成年者は、法律行為を単独で完全に行わせしめる行為能力に、多くの制限がある。

**問** 子供が少ないから、学校を減らしてしまつたと、その後も統廃合しなければならなくなる。

学校を存続させ、いろいろな施策により、子どもたちは増える可能性

があると考えている。最終計画だといつていいが。

**教員長** 今後10年以内に、再度、統合問題が組上にあることがあるかもしれないが、小中学校の設置者は町

なので、組合立を選択しない限り本町から学校がなくなることはない。

**問** 久那土地区に移住してきたご夫婦によると、保育園や学校が近くにあり、自然が豊かで子育て

をするにはとても良い環境で、移住を考える人はたくさんいるが、小学校がなくなつたら移住してくる人はないと話している。

子育てに良好な環境を作り、定住者を増やす努力を今後も進めるべきと考えるが。

**政策室長** 産婦人科や小児科の整備検討、若者世代向けに低価格住宅など検討したい。



下部地区の説明会風景





芦澤 健拓 議員

# 問 町長はこの統合計画を不公平だと思わないか

## 答 私は不公平であるとは思わない

### 特別委員会の 白紙撤回の報告書は

**問** 議会は21年9月に「1中2小は白紙に戻すべきである」という報告書を出しているが、当時の教育委員会はこの報告を無視し、「1中3小」という意見書のみを取り上げている。都合のよいものだけをとり上げるというのではおかしいと思うが。

**学校教育課長** 議会の「1中3小」の意見書だけでなく、保護者のアンケートの結果も尊重している。

### 後期計画の審議内容は

**問** 7回の審議を行って後期計画が決められたという事だが、最重要課題は何だったのか。

**教育長** 最重要課題は、少

子化により、学校の小規模化が急速に進んでいるため個々の学校では対処が困難であり、体系的、組織的な教育を阻害している状態を解消することである。

### 統合計画の 最終責任者は

**問** この計画の最終責任者は誰か。

**教育長** 計画の策定者である教育委員会が最終責任者である。

### 統合計画は 不公平だと思いが

**問** 諮問をした当時の教育委員長、答申した適正配置審議会会長、答申を受けて統合計画を策定した教育長、現在の教育長すべて身延地区の人たちによって作られてき

ている。これは「身延地区の身延地区による身延地区のための統合計画」であり、他の地区には、不公平な計画であると考ええるが、町長の考えは。

**町長** 教育委員会は、学校の組み合わせで考えており、旧町単位で決めているものではないと思うので不公平ではないと考える。

### 適正規模とは何名か

**問** 近い将来、適正規模の学校はなくなるといふ事態が起きてくる。教育委員会では適正規模は何人と考えているのか。

**教育長** 時代の趨勢で適正規模は変わってくる。国の基準はあるが、何人という基準は決めてない。

### 近隣の町との違いは

**問** 近隣の町の状況を見ると、統合を進めている当町と違って、学校を残す努力をしているように感じら

れるがどうか。  
**町長** 学校を少なくするとう方針であることはそのとおりである。近隣町においても統合にむけて努力しているところがある。



身延町のスカイツリー醍醐山と下部小学校



# 問 行政改革の評価は

## 答 達成率は71パーセントである



穂坂 英勝 議員

**問** 町政の最重要課題として「小さな役場、大きな仕事集団」をつくるための行政改革大綱を策定してきた。その成果と評価、職員数の削減については。

**町長** 集中改革プランに基づき、職員の意識改革、行政の健全化、町民自治の充実の推進に取り組んできた。達成率は71%であった。

22年度には行政改革大綱の見直しを行い、職員の行動改革、健全な行財政運営を推進することを柱に取り組みの重点化を図ってきた。

22年8月には行政改革実行プランを策定し、職員提案制度の活性化、人材育成基本構想を重点施策に掲げ、前例の踏襲、横並び志向から脱却した行動力の向上を目指した。



「(仮称)身延山インター」付近(和田地内)

実績と成果は、集計作業終了後、改革推進委員会の審議を経て公表する。

職員数は、合併当時の269人から203人と66人削減している。

**問** 財政の硬直化が進んでいるが、財政改革の成果と、地方交付税が算定替えにより約10億円の削減が見込まれることへの対策は。

**町長** 健全財政の確保維持、未収金の削減、施策運営コストの縮減等8項目を重点施策としてきた。起債残高は、20年度末から24年度末まで約30億円減額し、157億円となっている。基金は17億円は増加し、55億8000万円となっている。しかし脆弱な財政力であることに変わりはない。交付税の算定替え後は、さらに予算が縮減することを町民に理解していただきたい。

**問** 合併協定書にある未解決の諸問題の検討は。

**町長** 庁舎の位置、観光協

会の統合等は結論が出ていない。今後委員会等を立ち上げ検討していく。

**問** 中部横断自動車道のインター周辺の整備と活性化策は。

**町長** インター周辺の道路、橋、トンネルの整備等種々の構想を持っている。

**問** 町立保育所の統合をどう考えるか。

**町長** 保育所の統廃合を視野に入れた町立保育所のあり方を検討する時期に来ていると考える。



# 全国町村議会議長・副議長研修報告

議長 福與三郎

日程

5月28日～29日

研修先

メルパルクホール

(東京都)

参加者

議長 福與三郎

副議長 望月秀哉

1日目は、「町村議会に期待すること」と題した金井利之氏の講演があった。合併旧町村部は、議員マンパワーが弱まり、地域情報の収集力が低下している。地域の「見守り」と「ふれあい」で、議員は常に情勢を敏感に察知することが必要である。

多くの自治体議会改革は、住民生活への目に見える貢献が乏しいので、地域包括ケアの担い手として、住民の信頼を得ることを議員に期待するという内容だった。

続いて、松本克夫氏とパネリスト4人による「これからの町村議会のあり方」というシンポジウムが行われ、活発な討論があった。政策研究会、財政勉強会など議員の資質向上への取り組みや、政策づくりと監視機能を発揮している議会、住民の声を聴く会や議会傍聴の積極的な呼びかけによる住民に開かれた議会、また、町の地域特性を活かした工口エネルギー等、地域振興のための取り組みや工夫をこらした観光施設運

管、住民と議会の合意形成を図り、実効性のある議会活動をするために、議会基本条例を制定し、議会改革を進めた議会等それぞれの町の現状が紹介された。地域課題を発掘・発見すること、女性や若い世代の議会への関心度を高めること等が課題となっている。

2日目は、歴史家加来耕三氏による「歴史に見るリーダーの条件」、TBSテレビ報道局杉尾秀哉氏の「政治・経済の展望」と題した講演があった。

身延町議会のあり方についても再認識できた研修であった。

## 表彰

このたび、本町議会議員深沢脩二氏、草間天氏が「議会議員10年以上在職者表彰」を受けました。

両氏は、共に旧下部町時代から通算3期12年目を迎えており、今回、受賞の榮譽に輝きました。

心から敬意を表するとともにお祝いを申し上げます。





# 委員長行政視察



山梨県町村議会  
広報編集委員長  
行政視察に9町  
村22名で参加し  
ました。

日時 平成25年5月15日

17日

場所 宮城県大和町議会、  
宮城県利府町議会、  
東日本大震災被災  
地(宮城県松島町)

参加者 芦澤委員長  
河井副委員長

中学生でも読める広報誌を目指して



たいわ町議会だより(表紙)

## 「たいわ町議会だより」の特徴

第27回広報全国コンクールで優良賞(ベスト10)となった。32ページフルカラー刷りである。表紙などの写真は、委員全員で撮ったものから選んでいる。一般質問は、答弁書をもとに質問者が原稿をまとめ、写

真も用意する。

一般質問以外は、事務局が原稿をまとめ、委員が校正する。表紙の見出しにも、中身が見たくなるような工夫がなされている。

写真を多く使用し、すっきりとした印象を受ける紙面となっている。

## 【所感】

広報コンクールで賞を取るだけあって、とても見やすく、見たいと思う紙面になっている。

フルカラーで写真も多く、カラフルな印象を受けた。当町の議会だよりも、印刷費との兼ね合いがあるが、フルカラーを検討したい。



# 町村議会広報編集

## 「りふ議会だより」の特徴

第27回広報全国コンクールで優秀賞(ベスト4)となった。余裕のあるレイアウトを目指し、文字40%、見出しと写真40%、余白20%としている。表紙の写真は、委員が輪番制で撮影している。一般質問は2問まで掲載する。

原稿は、委員が手書きでまとめたものを事務局がデータ入力している。

表紙はフルカラー、中は2色刷り32ページである。広報機能と同時に、中、高、大学生などの「社会教育」の材料となるよう心がけている。

## 【所感】

広報全国コンクール3年連続トップ10入りしている広報だけに、紙面は2色刷りであっても、とても見やすくまとめられている。

余白、写真の使い方が素晴らしい、見習うべきところがあった。



りふ議会だより(8ページ)

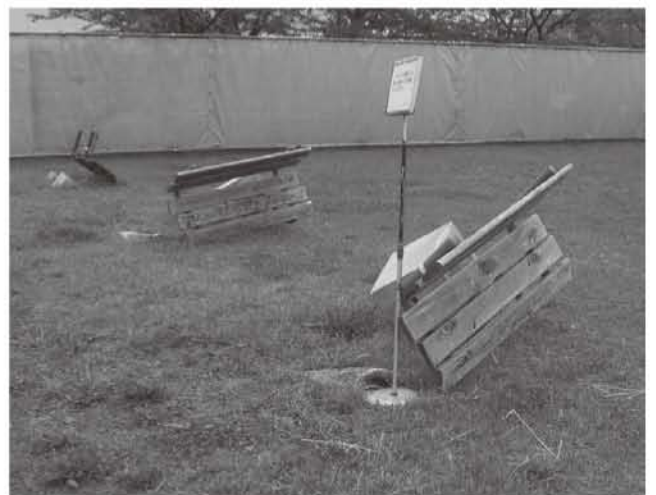
## 東日本大震災被災地に思う

大和町役場でも液状化現象により庁舎と駐車場の境には、10センチメートルほどの段差ができていた。

松島町の海岸沿いでは、瓦礫は片付けられていたが、写真のような状況であった。津波の恐ろしさを感じ、また、早期の復興を願うばかりである。



未だに手がつけられていない海岸沿いの被災地



津波の威力で折れ曲がった松島基地のベンチ



元気いっぱい！英語もできるよ！

# 西嶋保育所

## 町内保育所 保育園めぐり



子どもたちの成長が地域の皆さんから見守られ、

また、地域の方との触れ合いも盛んで、長い間続いている「サツマイモ掘り体験」地域の畑からじかに持ち込まれる野菜などの作物は、子どもたちに生き生きとした観察をさせてくれるうえに、おいしいおやつを提供してくれるので、皆さんに深く感謝しています。



平成25年4月1日現在、当保育所の入所児童数は、年中さん4人、年少さん1人、未満児3人、計8人ですが、子どもたちは元気いっぱい、活気に満ちた毎日を送っています。

音やリズムの変化に素早く反応しながら、数え方や想像力、協調性など、身体能力を高めるための指導を楽しく受けています。「英語教室」は今年度から週1回の開催となり、通常4・5歳児対象ですが、年中さんの4歳児4人が授業を受けています。カードの絵やブライアン先生の英語での問いかけに英語で答えるなど、毎週火曜日の午

後は子どもたちの歓声と笑顔あふれる教室になっています。そのほか、体育教室、サッカー教室、交通安全教室なども他の保育所と交流を兼ねながらおこなっています。大勢で遊ぶ楽しさや、ルールが自然と身につけられる良い機会となっています。

育てられていることを強く感じる毎日です。小さいお子さんをお持ちの保護者の方の支えとなれるよう「0歳児からの受け入れ」「二時預かり」「延長保育」「園庭開放」などを行っています。

「リトミック」リズムを取り入れた幼児教育法  
ブライアン先生 平成14年から身延町内小学校の英語教育に従事、その実績は非常に高い評価を得ている。  
出身  
(アメリカ合衆国アイオワ州)

(所長代理 遠藤孝子)